

# 2018 年度事業報告書

2019 年 6 月 28 日

特定非営利活動法人 地球環境市民会議

## 1 事業期間

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

## 2 事業の成果

・CASA レターでは、セミナーや学習会などの企画の報告の他に以下の情報を掲載しました。

98 号 2018 年 4 月	特集パリ協定とエネルギー問題 脱化石燃料の世界の動き 送電線空き容量問題 ツバルの取り組み 2017 年度の平均気温と今後の予測
99 号 2018 年 8 月	特集パリ協定とエネルギー問題 急速に拡大する再生可能エネルギー 国連気候変動ボン会議報告 第 5 次エネルギー基本計画についての CASA の意見 ツバルの取り組み
100 号 2018 年 10 月	30 周年記念号
101 号 2019 年 3 月	特集パリ協定とエネルギー問題 パリ協定に逆行する日本のエネルギー COP24 報告 地域の「カーボンバジェット」をどのように設定するか G20 大阪サミット、G20 大阪市民サミット ツバルの取り組み

・石炭火力発電問題では、神戸製鋼所の石炭火力発電所の設置に反対する「神戸の石炭火力発電を考える会」に加わり、情報収集・情報提供を行いました。また行政訴訟については傍聴にも参加しました。

・COP24 会期中に 5 回の「カトヴィツェ通信」の発行と CASA 声明「パリ協定は実施の段階に！締約国は削減目標の引き上げを！」を公表、帰国後「カトヴィツェ通信 6」を発行し、ホームページにも掲載しました。

・エネルギー問題については、基本計画に対する学習会、パブリックコメント提出を呼びかける学習会を開催するなど、温暖化問題、エネルギー問題についての市民講座やセミナーの開催とも合わせて情報提供はできたと思います。

・E-mail ニュースでは、CASA だけでなく他団体の企画の情報提供を行いました。また温暖化・エネルギー問題に関して報道される内容に対して、E-mail ニュースで情報提供も数回行いました。今後も企画の案内を実施するとともに、報道の情報提供では CASA としての見解を示しながら提供していけるよう努力をしていきたいと思っています。

・日本のカーボンバジェット（日本の排出許容量）についての情報や資料を収集し、カーボンバジェットの検討手法や内容についての検討を進め、岡山と小田原でシンポジウムを開催しました。2019 年度には、これまでの検討の成果を報告書としてまとめる予定です。

1月27日(日)	岡山市	岡山県の脱炭素社会を展望する
2月7日(木)	小田原市	カーボンバジェットで地域にビジネスチャンスを!

・国際会議に代表を派遣し、CAN や CAN-Japan (気候行動ネットワーク・ジャパン) と連携してロビー活動をしました。

4月30日～5月10日	国連気候変動ボン会議 (SB48&APA1-5)
9月4日～9日	SB48-2 追加会合、APA1-6 (タイ・バンコク)
12月3日～15日	COP24 (ポーランド)

・セミナーや省庁訪問 (4月、8月、11月) を CAN-Japan と連携して実施・開催しました。

6月14日(木)	CAN-J 主催 国連気候変動ボン会議報告会 (東京)
11月20日(火)	CAN-J 主催 COP24 直前セミナー (東京)
1月28日(月)	CAN-J 主催 COP24 報告会 (東京)

・「パリ協定に逆行する第5次エネルギー基本計画の問題点を明らかにするとともに、CASA が独自に開発したマクロ経済モデルによる、日本の CO<sub>2</sub> 排出量削減可能性の検討結果、また検討中の日本のカーボンバジェットについての検討結果」を、COP24 会場内のブースで展示するとともに、ポジションペーパーを配布しました。

また現地から、「カトヴィツェ通信」1～5 を、帰国後に「カトヴィツェ通信 6」を発行しました。

・COP24 の報告を1月19日に開催しました。

1月19日(土)	COP24 報告会～1.5°C特別報告書とパリ協定～ (小西さん、高村さん、小野さん)	参加者 83 名
----------	--	----------

・第26期地球環境市民講座は、3回の座学と1回の課外講座を実施しました。参加者は延べ193人で、昨年実績から減少しました。(第3回は集中豪雨の影響を受け、参加者が減少)

第1回 6月16日	脱炭素社会に向けて、世界の動きと日本の動き 講師：山岸尚之さん 辰巳菊子さん	参加者 54 名
第2回 6月30日	日本のエネルギー政策 原子力・石炭火力 講師：伴英幸さん 島村健さん	参加者 58 名
第3回 7月7日	急増する再生可能エネルギー 講師 豊田陽介さん 磯部達さん	参加者 43 名
第4回 8月2日	課外講座 大和ハウス 奈良工場見学	参加者 36 名

・セミナー・学習会

5月31日(木)	総合資源エネルギー調査会基本政策分科会の「意見箱」への意見の提出をするための学習会	8 名
11月15日(木)	省エネ学習会 (大阪市)	9 名
11月19日(月)	省エネ学習会 (堺市)	13 名
11月20日(火)	省エネ学習会 (吹田市)	23 名

・第5次エネルギー基本計画案の公表ならびにパブリックコメントでは、計画案の問題点を紹介するとともに、意見案の具体例を紹介しながら、意見提出を呼びかけ、CASA としては、6月16日にパブリックコメントを提出しました

・「CD-ROM 版『地球温暖化』資料集 2015」は、7 枚を販売しました。発行より 4 年を迎えます。資料集の改訂等を含め検討を進める必要があります。

・出前授業を 2 回開催しました。

6 月 4 日(月)	関西外語専門学校 国際高等課程 (K. I. H. S.)	対象：高校 3 年生 29 名。 テーマ：「地球温暖化問題を解決するために～国連の国際交渉参加の経験から～」。 内容：同校が取り組む模擬国連大会に向け、ワークショップ形式で、地球温暖化問題について学び、国際会議における NGO の活動やその役割を学ぶ。
10 月 26 日(金)	甲南中学校	対象：中学 3 年生 75 名。 テーマ：「地球温暖化問題とは～影響を知り、解決策を考える～」。 内容：地球温暖化の影響を学び、立場によって受ける影響の大きさが異なることなどを学ぶ。ワークショップ形式で、それぞれの立場で政策アピールを作成、発表。

・K. I. H. S からは、非常に有意義な時間であったと評価をいただきました。模擬国連大阪大会の開会式への参加の依頼があり、お引き受けしました（7 月 18 日）。

・甲南中学校は 2016 年度より毎年、依頼をいただいております、2019 年度の開催も決まりました。

・省エネチャレンジは、おおさかパルコープといずみ市民生協の組合員の参加がありました。取り組みやすさとこどもの参加をはかるため、2 か月版の見直しと「1 週間」版の取り組み（大人向け、こども向け）を始めました。

それにより参加者が大幅に増加しました。参加者からは好評で継続して取り組みたいとの声が上がっています。

・2017 年度の取り組み（夏 22 名、冬 23 名）からは大幅に参加者が増えました。生協の要望を伺い、改定を進めながらさらに参加者の増加をはかります。

・省エネラベルのキャンペーンの取り組みでは、大手量販店（関西ケーズデンキ）の店舗で 12 月 1 日に職員向けにアプリ「家電省エネ★くらべ」の紹介と 2 日に来店者向けにアプリのパンフレットの配布を行いました。19 年度からは会費の徴収もなくなりますが、アプリの紹介を進め省エネ家電の普及を図ります。

・プロボノ支援によるターゲット獲得プランを踏まえ、食を通じた企画として 2 月 6 日にエコ・クッキング教室を開催しました。19 年度からの生協での展開をはかるため体験企画として実施、28 名の参加がありました。SNS を活用した企画については、11 月にインスタグラムを立ち上げ、準備を進めています。

・ちきゅう Café の開催

5 月 26 日(土) 第 11 回	「ピアノ演奏とフェアトレードカレーを楽しみながら地球環境を考えるゆうべ」	17 名
-----------------------	--------------------------------------	------

9月15日(土) 第12回	第1部「地球温暖化の国際交渉を見つめてきた早川弁護士に聞く パリ協定ってどうして合意できたの? 異常気象が「異常」でな くなる時代がやってくる!?!」 第2部「ちきゅう Café 参加者交流会」	5名 5名
------------------	--	----------

・5月の企画は、ちきゅう Café 参加者から、企画テーマやプログラム内容のご提案いただき、それが実現しました。開催場所は、地域でフェアトレードカレーを提供するお店「リピジャ」さんで、「出張ちきゅう Café」として開催しました。9月の企画は、2部制で開催し、第2部で参加者交流会を開催しました。19年度も会員に限定せず広く温暖化について学び、交流する場として「ちきゅう Café」を開催していきます。

・30周年記念シンポジウム「脱炭素社会に向けて」(堅達京子さん記念講演・平田仁子さん報告等)とパーティーを10月13日(土)にマイドーム大阪で開催しました。シンポジウムは56名、パーティーは46名の参加があり30年を振り返るとともに今後の発展を誓いました。同時にCASA レター100号を30周年記念特集号として発行しました。

・桃山学院大学の学生を「環境ビジネス実践」という科目で、インターンの受け入れを実施しました。(8名)

・富士ゼロックスから要請があり、島本町 COOL CHICE 活動として環境教育講座を実施しました。

・G20 大阪サミットの開催に合わせて、市民による「G20 市民大阪サミット」が2019年6月25・26日に開催されることとなりました。CASA は実行委員会に参加し、市民サミット成功に向けて常任委員として活動しています。また当日に開催される「環境・気候・エネルギー」分科会について、気候ネットワークほかと連携し、準備を進めています(4月19日に関連セミナーを開催しました)。

・「気候変動イニシアティブ (JCI)」に加入しました。

JCI は気候変動対策に積極的に取り組む企業や自治体、NGO などの情報発信や意見交換を強化するためのゆるやかなネットワークです。2019年4月17日現在、361団体が加入しています(企業256、自治体29、その他76)。

・大阪市民への情報提供の強化と他団体との連携を深めるため、「おおさか環境ネットワーク」に参加しました。

### 3 事業の実施状況

#### (1) 特定非営利活動に係わる事業

##### ① (事業名) 情報収集事業

- (内容)
- ・地球温暖化問題、福島原発事故などの原発問題、エネルギー問題、石炭火力問題について、市民の立場からの情報を収集・提供します。
  - ・パリ協定に関する情報を収集し、提供する活動を進めます。
  - ・CASA レター、ホームページなどに収集した情報、CASA の提案などを掲載します。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 0 円

(支出) 49,875 円

②(事業名) 調査・研究事業

(内容) ・パリ協定を踏まえて、日本のカーボンバジェット（日本の排出許容量）の検討と、2030年に温室効果ガスの50%削減を可能とする具体的な政策や措置の検討を進め、日本の低炭素発展戦略や自治体の地域低炭素発展計画に対する提言を作成します。  
・地球温暖化問題、エネルギー問題、石炭火力問題、原発問題などについての調査や学習を進めます。

(実施場所) 大阪市内、京都市内、小田原市内、岡山市内、東京都内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 200 円

(支出) 880,410 円

③(事業名) 国際交流事業

(内容) ・気候変動問題の国際会議（APA, COP24 など）に代表を派遣し、気候行動ネットワーク（CAN）や CAN-J（気候行動ネットワーク・ジャパン）と連携して活動します。  
・国際交渉の状況などについて、市民に対して情報を発信します。

(実施場所) 大阪市内、東京都内、タイ(バンコク)、ポーランド

(実施日時) 5～6月、9月、11～1月

(事業の対象者) 世界の NGO、政府関係者、市民

(収入) 0 円

(支出) 4,445,135 円

④(事業名) 普及・啓発活動

(内容) ・「脱炭素社会の実現に向かって～日本のエネルギー政策を考える～」というテーマで第 26 回地球環境市民講座を開催します。  
・地球温暖化問題、エネルギー問題、石炭火力問題、原発問題など時々の情勢に合わせたセミナーや学習会の開催、意見や提言の発表などを行います。  
・「CD-ROM 版『地球温暖化』資料集 2015」の普及を図るとともに、IPCC の 1.5℃の特別報告書の公表を踏まえて、新たな資料集の検討を始めます。  
・PARE と連携し親子環境教室や出前授業の開催などを進めます。低学年や女子など対象を広げる教材の検討を進めます。  
・省エネチャレンジ、省エネラベルの活動を進めます。市民が身近に取り組める活動である省エネチャレンジは、2 か月版だけでなく、1 週間版（おとな、こども用）の利用を推進します。  
・若者や主婦層が参加しやすい企画をプロボノ支援により作成したターゲット獲得プラン（事業計画）を踏まえ具体化をはかります。（SNS を活用した企画、食をテーマにした企画）  
・ちきゅう Café の取り組みを継続します。

- ・生協と連携して作成したプログラムの実践をはかります。
- ・30周年の記念シンポジウムと、CASA レターの30周年記念特集号を発行します。
- ・温暖化防止に取り組む団体(大阪管区気象台・大阪府みどり公社)、脱原発や再エネ普及に取り組む団体等との連携を強化し、情報提供や協賛、共同企画を迫及します。
- ・桃山学院大学のインターンの受け入れ

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 地球環境市民講座(6,7月)以外通年

(事業対象者) 市民

(収入) 1,103,554 円

(支出) 2,017,508 円

⑤(事業名) 広告宣伝事業

- (内容)
- ・CASA レターについてのアンケートを実施し、内容の充実をはかります。年4回発行します。うち1回は30周年記念特集号として発行します。
  - ・ホームページの改定に向けた準備を進めます。
  - ・E-mail ニュースの発行とフェイスブックの更新の回数を増やします。
  - ・政党やマスコミへの情報発信のあり方を検討します。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) CASA レターは年3回発行

(事業の対象者)レターは会員、ホームページ、E-mail ニュース、Facebook は市民

(収入) 0 円

(支出) 1,394,898 円

⑥(事業名) 収益事業

- (内容)
- ・環境に関連する書籍や物品、サービスの販売を実施します。
- 「CD-ROM 版『地球温暖化』資料集 2015」を販売しました。

(実施場所) 大阪市内

(実施日時) 通年

(事業の対象者) 市民

(収入) 186,456 円

(支出) 232,750 円

4 総会の開催状況

第18期通常総会

(日時) 2018年6月16日(土) 午前11時00分～12時30分

マイドームおおさか 第6会議室(8階)

(正会員総数) 305名

(出席者数) 113名(うち委任状出席者 24名、書面決議者 62名)

(内容) 第1号議案 第18期(2017年度)事業報告承認の件  
 第2号議案 第18期(2017年度)活動決算承認と監査報告の件  
 第3号議案 第19期(2018年度)事業計画案承認の件

- 第 4 号議案 第 19 期(2018 年度)活動予算案承認の件
- 第 5 号議案 定款一部変更の件
- 第 6 号議案 議案決議効力発生の件

## 5 理事会その他の役員会の開催状況

### 第 1 回理事会

- 1.日 時 2018 年 9 月 26 日(水)午後 6 時 30 分～午後 8 時 15 分
  - 2.場 所 全大阪消費者団体連絡会 会議室(大阪市中央区内本町 2 丁目 1-19)
  - 3.参加理事 10 名
- (報告事項)
- 1.通常総会について
  - 2.第 26 回地球環境市民講座について
  - 3.桃山学院大学インターンシップ受入について
  - 4.大阪府補助金事業について
  - 5.島本町環境教育講座について
  - 6.出前授業について
  - 7.ちきゅう Café について
  - 8.COP 補助機関会合について
  - 9.気候変動イニシアティブへの参加について
  - 10.G20 大阪サミット 大阪・関西市民準備会について
  - 11.省エネチャレンジの進捗状況
  - 12.いずみ市民生協でのプログラムの実践報告
  - 13.CASA ロゴについて
  - 14.会員アンケート、レターアンケートの結果報告
  - 15.その他の活動
  - 16.PARE の取組
- (協議事項)
- 1.情勢について
  - 2.COP24 参加について
  - 3.30 周年記念シンポジウム・パーティーについて
  - 4.CASA レター30 周年記念号について
  - 5.プロボノ支援について
  - 6.財政状況について

### 第 2 回理事会

- 1.日 時 平成 30 年 3 月 27 日(水) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 25 分
- 2.場 所 大阪府中央区内本町 2-1-19 (全大阪消団連 会議室)
- 3.参加理事 10 名

(報告事項)

- 1.COP24 報告について
- 2.セミナー・学習会報告について
- 3.30 周年記念事業について
- 4.注記活動警戒の進捗状況について
- 5.プロボノ支援によりプログラムの展開について
- 6.その他活動
- 7.PARE 活動報告について

(協議事項)

- 1.情勢について
- 2.2019 年度の活動計画について
- 3.第 19 期通常総会について
- 4.2019 年度市民講座について
- 5.財政状況について
- 6.その他

### 第 3 回理事会

- 1.日 時 平成 30 年5月 14 日(火) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 25 分
- 2.場 所 大阪府中央区内本町 2-1-19 (全大阪消団連 会議室)
- 3.参加理事 12 名

(報告事項)

- 1.ちきゅう Café について
- 2.CASA 活動紹介パンフについて
- 3.助成金の申請について
- 4.G20 大阪市民サミットの取組について
- 5.桃山学院大学インターンシップ受入について
- 6.損保ジャパン インターン生の受入について
- 7.PARE 活動報告について

(協議事項)

- 1.情勢について
- 2.第 19 期通常総会提案議案と進め方について
- 3.理事・監事の選任について
- 4.20 期理事会の開催日について
- 5.第 27 期地球環境市民講座について
- 6.中期活動計画について
- 7.サーバーレンタルについて
- 8.長期戦略案への意見案について
- 9.その他